

ウチワチョウジゴケ

Buxbaumia aphylla Hedw.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… －

■ 県内分布

宍粟市

■ 国内分布

北海道、本州、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

現状は不明。おそらく絶滅。

■ 保護上の留意点

生育基物(朽木)の崩壊とともに生育地そのものが失われるため、保全の手だてはない。

■ 種の概要

胞子体は長さ10-15mm。蒴柄は長さ5-10mm、全体が密にパピラで被われる。蒴は傾いてつき、長さ3-4mm、下面に較べて上面が平板になり、側部は角張り、光沢のある明瞭な稜をもっている。蓋は円錐形で先は円頭になる。胞子は直径約10μm。おもに亜高山帯の腐植土上あるいは腐植をかぶった岩上、とりわけスキー場の法面等に散生する。